

『おくのほそ道』ジグソー学習計画

学習計画《第1次・第2次》

《第1次（2時間）》

- (1) 『おくのほそ道』の概要を知る
- 『おくのほそ道』の冒頭部分の音読と解釈
 - 芭蕉の“旅への思い”についての話し合い

《第2次（2時間）》

- (2) 学習コースと学習方法について知る
- 学習コースについての説明

A 白河	D 福島1－信夫の里	G 平泉
B 須賀川	E 福島2－医王寺	H 『おくのほそ道』行程
C 二本松	F 福島3－飯坂	I 松尾芭蕉

- 学習方法についての説明

- 1) 今までの学習方法の問題点
- 2) ジグソー学習の方法と利点
- 3) ジグソー学習の流れ

ア 学級成員を9名ずつの4グループに分ける。 【ジグソーセッション】

イ 各グループから1名ずつ集まり9つのグループをつくる。 【カウンターパートセッション】

(一人一人がジグソーパズルで言えば1ピースにあたる)

ウ 9つのグループがそれぞれAからIの中から1つずつの学習コースを分担し調べ学習を進める。 【カウンターパートセッション】

エ 調べた成果をワークショップを開催して発表する。

オ その後もとのグループに戻る。一人一人がそれぞれ異なった学習コースについて学習しているため、相互に報告し合い、質問したり話し合ったりして教え合い学習を行う。この学習により、すべての学習コースについて学習することになる。

【ジグソーセッション】

(一人一人、すなわち1ピースの報告がきちんとなされて、はじめてパズルが完成することになる)

- (3) 発表方法について理解し、グループと学習コースを決める

- 発表方法についての説明

 - 1) 今までの発表方法の問題点
 - 2) ワークショップ方式の方法と利点
 - 3) ワークショップ方式の流れ

ア カウンターパートセッション（4人グループ）での学習成果（発表資料）をグループごとに教室内のエリアに展示する。ここには、生徒のノートやワークシート、原典となる資料がそのまま配置される。

イ 他の生徒は、このエリアを訪れ、そのグループが調べた内容について質問したり説明を受けたりする。質問カードを持ち、それぞれのエリア（ワークショップ）をまわることになる。

ウ グループの中で、説明をしたり質問を受け付けたりする店員役の生徒と各ワークショップをまわるお客さん役とに分かれて活動する。役割は途中で交代する。

- グループ編成
- 学習コースの選定